

後期校内実習を実施しました。(1・2・3年生)

11月5日(月)から11月15日(金)の間、後期校内実習を実施しました。1・2年生は現場実習と並行しての実施で、疲れを感じた人も多かったと思います。それぞれの目標は達成できましたか。3年生は最後の校内実習でした。やり残したことはありませんか。校内実習で身につけた力を、これからの生活の中で活かしてください。最終日の振り返りでは、作業を決められた時間集中して作業を行うこと、挨拶や返事、報告を大きな声で行うことの大切さを振り返る生徒が多かったです。校内実習の様子を写真でお伝えします。HPにも各班の写真を掲載していますので、そちらもご覧ください。



全体振り返り



委託班



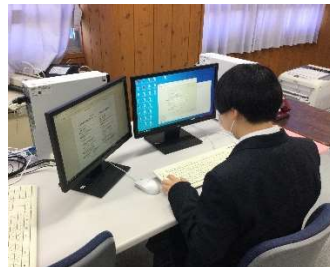
木工班



環境園芸班



ビルメンテナンス班



デジタル班



家政班



オフィスアシスタント

後期現場実習を実施しました。(1・2年生)

1・2年生の皆さん、有意義な現場実習になったでしょうか。今回の実習で経験して分かったこと、自分の「得意」「不得意」「課題や目標」を担当の先生と振り返り、進路パスポートに整理し、自分のこと(特徴)を知っていただければと思います。そして次のステップにチャレンジしていきましょう。保護者の皆様、家庭での支援たいへんお世話になりました。この経験を踏まえ、本人、家庭、学校で共有し、これからの家庭生活・学校生活で生かしてもらえればと思います。

【2年生の様子から】

2年生での現場実習が終了しました。今回の実習では、前期の実習では見えなかった課題も少しずつ明らかになったようです。課題があることは悪いことだけとは限りません。課題に対してしっかりと目標を立ててどのように練習を重ねていくのが今後大切になると思います。2月には拡大進路相談があります。人任せにせずしっかりと自分の意見を言えるようにしておいてください。

【1年生の様子から】

初めての現場実習を通して、自分の成果や課題を知ることができたと思います。「知る」ことから「受け入れる」までつなげることが1年生の進路目標「自己理解」です。まず今の自分を受け入れて、さらに飛躍を目指しましょう。担任の先生や保護者の方とたくさん話して、気づきを進路パスポートにまとめてください。

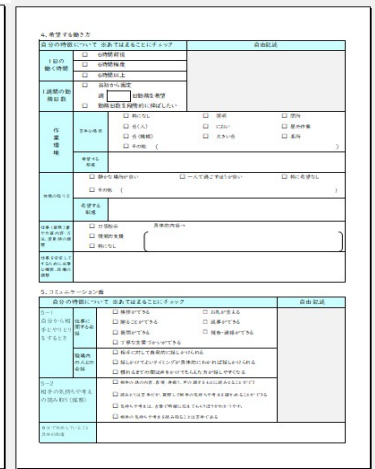
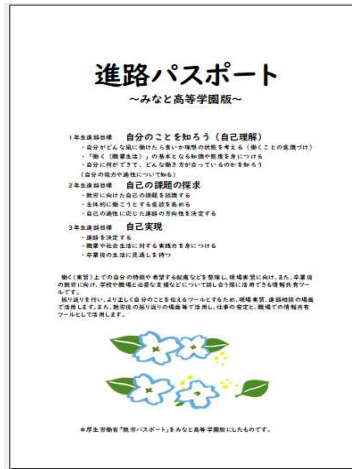
進路パスポートについて

進路パスポートって

進路パスポートは、働く(実習)上での自分の特徴や希望する配慮などを整理し、現場実習に向け、また、卒業後の就労に向け、学校や職場と必要な支援などについて話し合う際に活用できる情報共有ツールです。

振り返りを行い、より正しく自分のことを伝えるツールとするため、現場実習、進路相談の場面で活用します。また、就労後の振り返りの場面等で活用し、仕事の安定と、職場での情報共有ツールとして活用します。

*厚生労働省「就労パスポート」をみなと高等学園版にしたものです。



進路パスポートの作成段階

1年生進路目標 自分のことを知ろう (自己理解)

- ・自分がどんな風に働けたら良いか理想の状態を考える (働くこと意識づけ)
- ・「働く(職業生活)」の基本となる知識や態度を身につける
- ・自分に何ができて、どんな働き方が合っているのかを知ろう (自分の能力や適性について知る)

2年生進路目標 自己の課題の探求

- ・就労に向けた自己の課題を認識する
- ・主体的に働こうとする意欲を高める
- ・自己の適性に応じた進路の方向性を決定する

3年生進路目標 自己実現

- ・進路を決定する
- ・職業や社会生活に対する実践力を身につける
- ・卒業後の生活に見通しを持つ

それぞれの学年の進路目標を達成するために、現場実習や校内実習、普段の学校生活の中で作成、更新していきます。また、卒業後は引き継ぎ資料やアフターフォローに活用していきます。



卒業後の活用

- 進路先事業所、支援機関(障がい者就業・生活支援センター、相談支援事業所等)に渡し、本人の特徴知ってもらうことによって、本人に合った仕事、ステップアップを図れるように活用する。
- 事業所に渡すことによって、職場の人(理解者)が異動等で変わった場合でも、自分の特徴を知ってもらうツールとして活用する。(職場適応と定着)
- 事業所が、本人の体調変化のサインを把握することにより、ストレス・疲労を本人が訴える前の段階で状態の変化を把握し、本人の変化に早期に対応できるように活用する。(職場定着)
- 本人(及び家庭)・事業所・支援機関で共通のツールとして進路パスポート活用し、本人に合ったステップアップ(次の目標設定や仕事内容等)に活用する。等々の目的で卒業後の活用を目指しています。